

～組合員の皆様のご意見・ご要望～

令和5年9月座談会



9月8日から13日まで管内の36会場で、令和5年度地区別座談会が開催されました。

各地区の組合員194名が参加し、JAグループ秋田組織再編構想や、令和5年産米の集荷・販売方針等について報告した後、意見交換を行いました。

参加者からいただきました貴重なご意見・ご要望・ご質問をQ & A方式でご報告させていただきます。質問事項が重複・類似した案件については集約し回答させていただいております。

※各項に標記している㊤、㊦、㊧、㊨はご意見、ご要望のあった各管轄店舗を表しています。
㊤=本店 ㊦=のしろ北支店 ㊧=二ツ井支店 ㊨=藤里支店

Q ご意見・ご要望・ご質問
A 回答・対応

Q 合併後の総代数は決まっているが、各地区への割振りはどうなるのか。㊤

A 合併後の総代数については、組合員数割としてございます。組織再編推進協議会に移行しても、最終的な判断は令和6年10月の理事会になるのか。そのタイミングでの離脱は可能なのか。

Q 組合員から「合併してほしい」と頼んだ訳でもない合併を、どうするかと組合員に投げかけられても困る。「よりたかく、よりやすく、よりちかくに」を実現できるのか。無理して合併しなくとも、途中離脱も視野に入れ、合併ありきで進めないでほしい。組合として合併をどう考えているのか、組合員をどこに連れて行ってくれるのか示してほしい。㊦

A 今後、農業振興計画について、より深く協議を行う予定となっております。協議結果において、具体的な組合員メリットが見出せない場合には、離脱も視野に入れて協議してまいります。合併メリットについて、所得向上を目指す・努めるとの説明が抽象的である。具体的な根拠は何か。避けられない合併で

JAグループ秋田 組織再編構想について

Q 合併は決定事項なのか。合併したなら小規模農家にもメリットが出るようにしてほしい。㊦

A 合併は決定事項ではございません。今後もメリット創出のため、慎重に協議してまいります。

Q 合併の進捗状況が思わしくないように感じる。本当にスケジュールとおり合併できるのか。㊧

A 現在、お示ししましたスケジュールで協議を進めてまいります。

Q 合併がまとまらない問題点はなにか。他県でも県一JAがあるのでそれを参考にすれば3年もかからないのではないのか。㊧

A 組織再編の協議を重ねていく過程で、コロナ禍、さらには世界的な政情不安による社会・経済状況の激変等、当初想定

あれば、デメリットを減らしてほしい。㊦

A 組合員の皆様に、ご不便をお掛けしないよう対策も含め慎重に協議してまいります。

Q 合併するとJAのフットワークが悪くなる。施設が1か所に偏り、組合員が遠方まで足を運ばなければならなくなるのではないのか。先に立つ人によっては心配である。㊦

A 組合員の皆様に、ご不便をお掛けしないよう対策も含め慎重に協議してまいります。

令和5年産米の集荷・販売方針、 令和6年産米の方針について

Q 米概算金について、JA独自
の加算を多くして欲しい。㊦

A 県内JAの多くが全農概算金からJA手数料見合い額を差し引いた概算金を設定しておりますが、当JAでは全農概算金に上乗せした独自の概算金を設定しております。今後、直接販売米の交渉を進め、速やかに追加払い

Contents

- 02 **特集** 地区別座談会を開催
～ 組合員の皆様のご意見・ご要望 ～
- 06 あきた白神トピックス
- 08 営農情報 ～ 稲作・畑作 ～
- 10 漢方で心の養生
- 12 能代科学技術高校リポート
- 13 おたより・クロスワード
- 14 福祉介護課だより
- 15 令和6年度分軽油引取税免税(農業用)交付申請の集合(仮)受付について
- 16 JAあきた白神からのお知らせ
- 20 エーコープ商品で簡単クッキング

ができるよう努めてまいります。

Q サキホコレに対して、県北の対策はないのか。サキホコレの栽培基準を見直して、県北でも栽培できるようにしてはどうか。^④

A 現在、作付推奨地域への編入判定に必要な生育データや品質・食味データ等を収集するため栽培試験を実施しております。実施期間は令和3～5年までの3年。^④

Q 秋田県内の現地圃場で試験した結果、玄米カドミウム濃度はあきたこまちより著しく低く、基準値を大きく下回る結果が出ております。令和6年度より採種圃での種子生産が開始され、令和7年度より全面切替となります。

年間、作付推奨地域への編入が決めれば栽培することが可能となります。

Q こまちRについて、カドミウム対策の結果は出ているのか。また、いつから切替し、値段はどうなるのか。^①

A 秋田県内の現地圃場で試験した結果、玄米カドミウム濃度はあきたこまちより著しく低く、基準値を大きく下回る結果が出ております。令和6年度より採種圃での種子生産が開始され、令和7年度より全面切替となります。

令和5年度カントリーエレベーターの稼働について

Q 白神CEか大潟村CEかどちらに搬送になるのか連絡してほしい。^①

A 今年度から大潟村CEへ搬入したものについても「荷受明細票」を発行しておりますので、そちらでご確認願います。

Q 大潟村CEへの搬送に伴い、精算が遅れる理由はなにか。また、要因が人員体制によるもの

Q 二ツ井・藤里地区が大潟村CEへの搬送となるのか。どこの地区が搬送となる等の考え方はあるのか。あるのであれば、交代で受け入れしてほしい。^①

A 大潟村CEへの搬入は不特定の搬送となっております。荷受量が多く過稼働となる場合はCEを含め各中継基地から搬送しておりますので、特定の地区からの搬送ということはございません。

Q スタンドバックの回転率が悪い。不良品もある。客足の逃げないような対応をしてほしい。^①

A 今年度は50枚更新しております。次年度以降も更新・修理しながら対応してまいります。

令和6年度用 営農資材予約注文について

Q 農業の価格について、稲作は同じであるが、畑作用に価格差がある。畑作用について、部会加入者が優遇されることは疑問に思う。^④

A 現在、高校生への農業新聞提供や小学生を対象とした学校農園、農作業体験や園芸メカ団地の施設見学等、将来の就農を目指した活動を行っております。今後も関係機関と協力しながら活動を行ってまいりますし、活動に際し農家の皆さまのご協力をお願いいたします。

A 複合経営の推進による農業所得向上に向けたコスト削減の一貫として、このような施策に取り組んでおりますのでご理解の程宜しくお願致します。

Q 肥料・農業の注文書について、複写がなくなり控が手元にならないので確認できない。^④

A 肥料農業の注文書は、切り取らずにご自身の控えとして保管して下さい。Web注文画面では、最新の注文内容と昨年度の注文内容をご確認いただけます。Webが不慣れな方や、スマホやパソコンがない方はTACへお問合せをお願い致します。

Q 肥料高騰対策の支払いが購買貸越精算日を超える場合は、精算日延長を検討できないか。^④

A 状況を注視しながら、購買貸越の精算日を超える場合については、精算日の延長も検討してまいります。

Q Web注文システムの仕様について、商品選択イコール注文になるのではなく、カート・

買い物かご等の一時保留となるシステムにできないか。^④

A 商品を選択し数量を入力後、「JAに注文する」を押しただくことで始めて注文となります。操作の簡略化を考慮し、カート等を省略させて頂いております。ご注文後については、「ご注文内容の確認・修正」の画面がございますのでご確認ください。

夏のメンテナンス

Q 野菜センター真空予冷庫を改築してほしい。暑い中、パレットの上上げたままにしているところを見ると品質低下が懸念される。^④

A 真空予冷機・保冷庫の更新と併せ、荷受け場の増床も含め検討してまいります。

Q 今回の猛暑が毎年続くようであれば、ねぎの萎凋病等が心配で、何かしらの対策が必要ではないか。^④

A 軟腐病や萎凋病の多発は、猛暑だけが要因ではなく、前段の大雨被害による根傷みが起

因となっております。基本的な排水対策はもちろんのこと、輪作をすることで土壌病害密度を低下させることが重要と思われれます。今後関係機関と連携しながら対策等の情報発信に努めてまいります。

Q 若い人がJAに興味が出るようにしてほしい。住宅ローンの金利も低いし良い金融機関と思う。^④

A 地域・利用者の皆様にこれまでにないイベントの開催や、より利用しやすい商品・サービスの提供を積極的に行ってまいります。

Q 買収米やくず米でのインボイス制度の関係は。^①

A 共同計算ではない買収米や網下米等は特例措置に該当しないため、JAの仕入れ消費税控除が80%となりますが、生産者のインボイス登録の有無による価格差は設けないものとし、対応してまいります。

Q 農業後継者を増やすためにJAで手伝いや色々な企画をしていただきたい。^④

